

29年度事業報告書

1 法人

① 目標について

平成29年度の事業計画の目標であった研修では、正規職員の2/3が施設外研修を受講している。また施設内研修においても非正規職員も含め前年度に比べて参加人数は増加している。上記研修内容により、冬季賞与及び昇給の評価対象とした。

また、外部講師を招き施設内研修を行い、研修内容を充実したものにした。

② 職員の確保について

今年度は育児休業を取得した職員が2名いる、また退職者の補充として、直接雇用及び派遣を利用した。特養の介護職の補充については厳しい状態ではあるが、引き続き努力をしていく。

③ 長期修繕計画について

平成29年度に修繕計画を作成する予定ではあったが、平成30年度に作成を持ち越すこととする。

④ 地域貢献

職員により、近隣の清掃をおこなった。またケア会議等の参加、及びボランティアの受け入れ等を行った。

2 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

① 目標について

職員の質の向上を図るため、外部講師を招き研修を行った。また外部研修に積極的に参加する職員も増えてきた。

安心・安全に日常生活を過ごしていただけるよう、職種間の連携や医療機関等との連携もスムーズに行えてきている。

② 稼働率について

特 養 延べ在日数 22,707 日 稼働率 91.5%

短期入所 延べ在日数 1,696 日 稼働率 92.9%

今年度は、特養の空き部屋利用を短期入所でカバーしきれていない状況であった。

3 デイサービスセンター

① 目標について

重度の利用者対応のため、経験年数のある職員が新人職員に対し教育を行い、サービスの向上につながっている。

また、利用者の家族及び事業所との連携もでき、利用者の身体の状況等相互に把握できた。

② 稼働率について

述べ利用人数 5,899 人、1日平均 18.8 人、稼働率 62.8%であった。

当初の目標に達していないが、前年度に比べて稼働率は増加しているので、今後も新規利

用者の拡充を図る。

4 ヘルパーステーション

① 目標について

在宅での介護が必要な高齢者の方を対象に、安心して生活ができるよう身体介護及び生活援助を提供していく上で、職員の研修をおこなった。

② 実績について

身体援助及び生活援助を合わせ 13,802 回の援助を行った。

5 居宅介護支援事業所

① 実績について

月平均 31.4 名の利用であった。

② 目標について

地域ケア会議や事業所連絡会への参加を行い、地域や他事業所との連携関係を深めた。研修や説明会に積極的に参加し、居宅介護支援技術の向上を図り、よりよいケアプランの作成ができるように努めた。

5 サービス付高齢者住宅の経営

① 目標について

当初の目標である稼働には達していないが、3月末時点で 30 名の方が入居している。また、事業所や医療機関等との連携もとれていて、今後も連携をとれる事業所及び医療機関を増やし、入居者のサポート体制を強化していく。